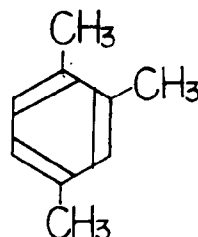


## 分 解 度 試 驗 報 告 書

1. 試料名 1, 2, 4-トリメチルベンゼン  
(試料No K-113)

分 子 式  $C_9H_{12}$       分 子 量 120.19

### 構造式



同 定 赤外分光光度計 ( 付図—5 参照 )

性 狀 外 觀 無色液体

沸 点  $169 \sim 171^{\circ}\text{C}$ 比重  $d_4^{20}$  0.8716

純 度 99%以上 ( 特級試薬使用 )

溶解度 对水—10 ppm 以下

対アルコール，ベンゼン，エタノール，  
に可溶

2. 試験期間 昭和55年7月4日～昭和55年10月25日

- ### 3. 試験方法及び条件

環 保 業 第 5 号 }  
薬 発 第 615 号 } 微生物等による化学物質の分解度試験による  
49 基 局 第 392 号 }

### 3. 1 試験条件

- (a) 生分解試験条件

- (1) 微生物源 : 標準活性汚泥 30 ppm  
(2) 供試物質濃度 : 100 ppm  
(3) 試験期間 : 28 日間

- ### (b) 試驗裝置

閉鎖系酸素消費量測定装置 揮発性物質用改良型

- ### (c) 試料の採取

供試物質は、液体のためマイクロシリンジ34  $\mu$ l分取し各培養瓶に添加した。

(計算式)  $0.877(\text{比重}) \times 34(\mu\text{ℓ}) = 29.8(\text{mg})$

- (d) BOD測定装置へのセット状況

	状 況	
仕込時	水、汚泥系共、試料は、液面に薄い膜状になって浮いていた。	—
途 中	同 上	—
終了時	同 上	—

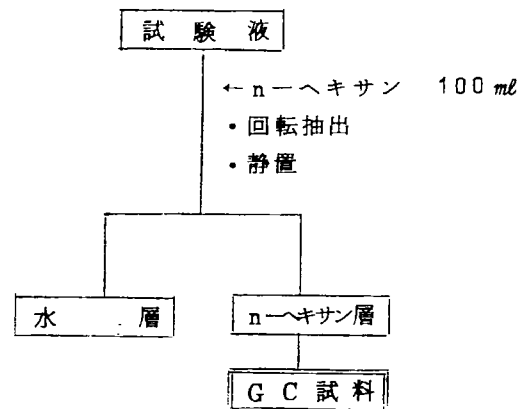
### 3.2 直接定量分析

#### (a) 使用分析機器及び条件

ガスクロマトグラフ

型 式 日本電子 JGC-20K (FID)  
 検 出 器 FID  
 カ ラ ム  $2\text{ mm } \phi \times 1\text{ m}$  ガラス製  
 固 定 相 液 相 10% SE-30  
 担 体 クロモソルブW  
 カラム温度  $80^{\circ}\text{C}$   
 キャリヤガス  $\text{N}_2$

#### (b) 分析試料の前処理



### 4. 試験結果

	分解度(%)	付 図	付 表
酸素消費量による結果	<div style="display: inline-block; border: 1px solid black; padding: 2px;">4</div> 1 8 <div style="display: inline-block; border: 1px solid black; padding: 2px;">5</div> <div style="display: inline-block; border: 1px solid black; padding: 2px;">6</div> 4	1	
G C に よ る 結 果	0	2	1

7 日目のアニリンの分解度 70%

## 5. 備 考

前回の試験では、供試物質の揮散が著しかったため、改めて揮発性物質用装置を用いて分解性の検討を行った。  
その結果、供試物質の8割以上が系内に保持されていることが確認された。

前後2回の試験における供試物質の保持状態を下表に示す。

水系残留率 (%)	
第 1 回 試 験	第 2 回 試 験
11 ( T O C ) 19 ( U V )	81 ( G C )
標準型装置使用	揮発性物質用装置使用

(注) (        ) 内に分析法を示す。

以 上